

事業所名

児童発達支援事業所ソレイユ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R6年

10月

1日

法人（事業所）理念		お子様ひとり一人の個性を大切に、安心して共に生きる社会を実現するため、日常生活において必要なマナーやコミュニケーション能力を身につけ、社会で自立出来るお手伝いと、ご家族様が安心できる療育支援を提供していきます。					
支援方針		お子様の個性を尊重し、大事に考え、保護者と子どもさんの「今」をサポートします。今、子供さんに必要なことや、子どものために出来ることを保護者と一緒に考え実行していきます。全体療育、個別療育を組み合わせながら子どもさんの気付きを大切に、より良い療育を目指します。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり
サービス提供時間		9時	30分	13時	30分		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日常生活動作（衣類の着脱、排泄、運動能力等）の向上をし、身辺自立を促します。規則正しく過ごし、生活リズムの安定や基本的な生活習慣の確立を図ります。職員との肯定的な関わりにより、アタッチメントの形成や情動の安定を図ります。					
	運動・感覚	身体全体を使った遊びや日常生活の基本となる動作（食事・排泄・着脱）を身につけていく中で、座る・立つ・歩くといった粗大運動や手や指先を使った動作といった微細運動の習得を目指します。					
	認知・行動	認知教材を用いることで、数、時間、形、色、音、数量、大小等の認知能力の向上を目指します。季節のイベントや知育活動を通じて、認知・行動の概念を形成していきます。					
	言語コミュニケーション	職員の言葉かけや他の児童との遊びや関わりの中で、指差しや身振り等の非言語コミュニケーションの習得や日常の生活言語の習得を含めた言語コミュニケーションの向上を図ります。					
	人間関係社会性	職員や他の児童との関わりにより、自他理解を促し、ルールやマナーを学んでいきます。職員や集団場面での他の児童との関わりにより、一人遊びだけではなく、平行遊び・連合遊び・共同遊びのように遊びの形態の変化を目指します。					
家族支援		当所での様子を伝えたり、家族の様子聞き取りをしたりしながら、心配事・困りごとの相談を行います。ご家族の皆様と信頼関係の構築をし、子どもにとってプラスの場になるように支援致します。			移行支援		関係機関と連携、情報共有し、次のステージへ円滑に進めるように個別支援を実施します。
地域支援・地域連携		他の事業所との交流・合同活動や地域イベントへの参加をします。関係機関と連携を図り、包括的な支援を行います。			職員の質の向上		定期的な事業所内研修を行い、支援内容の向上に繋がります。
主な行事等		季節に合わせた活動プログラム（正月遊び、おもちゃまめ、節分、七夕、母の日、父の日、プール遊び、ハロウィンパーティー、秋祭り、クリスマス会）、調理実習、お出かけ（公園遊び、図書館、地域行事参加、体育館遊び）。					